



ShowMatch™ DeltaQ™ Array Rigging Frames

設置および安全ガイドライン



この設置ガイドに記載された内容をよくお読みください。また、必要に応じてすぐご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめします。

本製品は、専門の施工業者による設置のみを想定した製品です。本書は、一般的な固定設備またはポータブルシステムのアプリケーションにおける本製品の基本的な設置方法と安全上のガイドラインを施工業者様に説明することを目的としています。設置する前に、本書とすべての安全に関する警告を読んでください。

警告:



- 全てのボーズ製品は、各地域、州、連邦、および業界の規制に従って使用する必要があります。各地域の建築に関する条例や規制など、適用される全ての法律に従ってスピーカーとおよびそのマウントシステムを設置することは施工業者の責任です。本製品を設置する前に、各地域の管轄官庁に相談してください。
- 重量物の不安定な設置や頭上となる場所への取り付けは、重傷または死亡、および機器への損傷の原因となります。適用する設置方法の信頼性を評価することは、施工業者の責任です。適切な部品および安全な設置技術の知識を持つ専門の施工業者のみが、天井へのスピーカーの設置を行うことができます。

注意:



- 設置したスピーカーアレイには定期点検と日常保守を行い、正常な機能と安全な動作を確認してください。また、構造健全性に悪影響を与える可能性がある腐食やたわみなどが設置部品と取り付け部品に発生していないかどうか点検してください。劣化した部品や損傷した部品は直ちに交換してください。
- 許可なく製品を改造しないでください。安全性、法令の遵守、システムパフォーマンスを損なう原因となり、製品保証が無効となる場合があります。

注: Bose Modeler[™]またはBose Array Toolソフトウェアを使用して、正確なアレイ構成、ピッチ角度、リングポイントに基づいて安全に利用できる荷重の制限を必ず確認してください。

ShowMatch[™] DeltaQ[™] Array Module Loudspeakersの設置とセットアップのガイドライン

本書に含まれる設置情報は一般的なガイドラインです。すべての要件や注意事項は網羅していません。従って、本資料を使用する者がすべての責任を負い、とりわけ実際に使用されるスピーカーアレイの設計と設置の安全性に対して明示的に責任を負うものとします。

- 天井へのスピーカーの設置またはポータブルシステムのセットアップの際には、事前に有資格の専門技術者が建造物または支持構造への取り付け位置と方法を承認し、建築に関するすべての条例と規制に従っていることを確認する必要があります。設置面とスピーカーシステムの設置方法が、システムの総質量に耐えられるだけの強度があることを確認してください。設置面とブラケットに、システムの質量の10倍以上の強度があることを目安にします。
- 信頼できるメーカーのシステム設置部品を使用してください。また、使用するスピーカーシステムとその用途に適した設置システムを選択してください。入手可能であれば、ボーズの設置アクセサリを推奨します。カスタム設計の設置ハードウェアを使用する場合は、その設計と製造について、有資格の専門技術者による検査確認が必要です。
- スピーカーの吊り点としてハンドルを使用しないでください。ハンドルは耐荷重用に設計されていません。
- 落下防止ワイヤーを別途用意してください。その際、設置システムとスピーカーの取り付けで使用していない埋め込みナットを使用して、落下防止ワイヤーを固定してください。各地域の規制で定められていない場合でも、落下防止ワイヤーの使用を推奨します。落下防止ワイヤーの適切な設計や設置については、有資格の専門技術者や設置の専門家にご相談ください。
- いかなる状況においてもアレイに登らないでください。

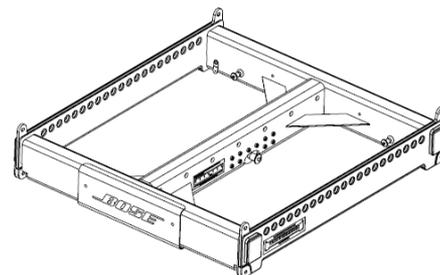
アプリケーション

ShowMatch™ array frames、リギングアクセサリは、ShowMatch DeltaQ™ array loudspeakers (SM5、SM10、SM20) および ShowMatch DeltaQ Array subwoofers (SMS118) と一緒に使用するよう設計されています。

ShowMatch以外のスピーカーとは使用できません。

ShowMatch Array Frame

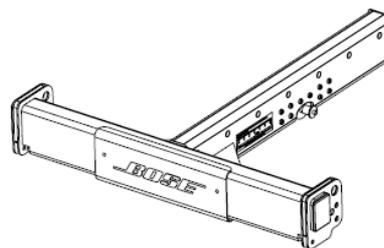
ShowMatch Array Frame (SMAF) サブウーファーモジュールを含む天井吊り下げアレイや、サブウーファーモジュール、フルレンジモジュール、またはそれらを組み合わせたグラウンドスタックアレイを構成できます。



ShowMatch T-Bar Array Frame

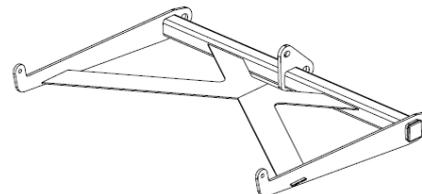
ShowMatch T-Bar Array Frame (SMAFT) を使用して、フルレンジモジュールのみを使用した天井吊り下げアレイを構成できます。

ShowMatch T-Bar Array Frame では、サブウーファーモジュールを含むアレイやグラウンドスタックアレイを構成しないでください。



ShowMatch Array Pullback Bracket

アレイ最下段のフルレンジアレイモジュールに ShowMatch Array Pullback Bracket (SMPULL) を取り付けることで、躯体に支持させるリギングポイントを設け、3点サスペンションを実現します。これにより、重心を利用する 2点サスペンションよりもアレイを大きく下振りすることができます。



その他の製品情報

ShowMatch DeltaQ array loudspeakers のモジュールの詳細、アクセサリの設置手順については、pro.Bose.com で設置ガイドを入手してください。印刷したガイドが必要な場合は、このガイドの連絡先情報のセクションに記載されている電話番号にお問い合わせください。

製造元の宣言

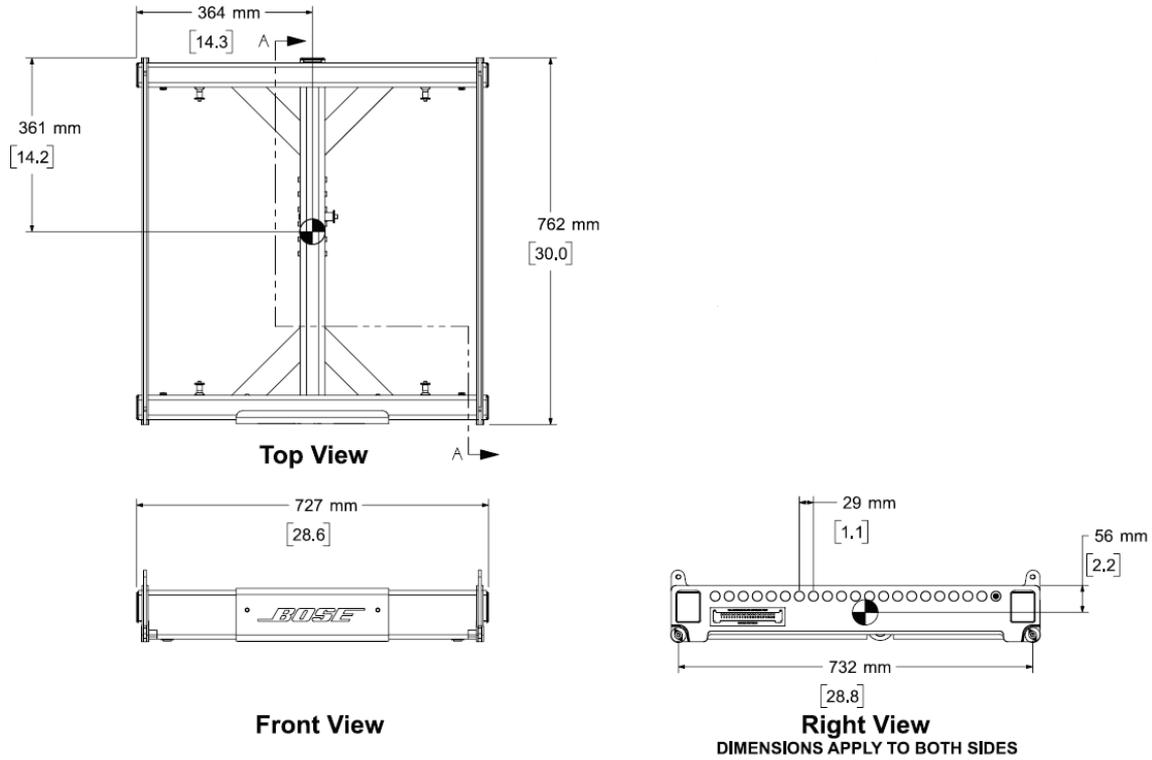
ShowMatch DeltaQ array loudspeakers とアクセサリは、BGV C1規格および技術仕様に準拠して設計され、製造されています。この宣言は、事前の合意なしに機器を改造した場合には無効になります。

製品説明と寸法

ShowMatch™ Array Frame (SMAF)

製品重量: 37.6 Kg

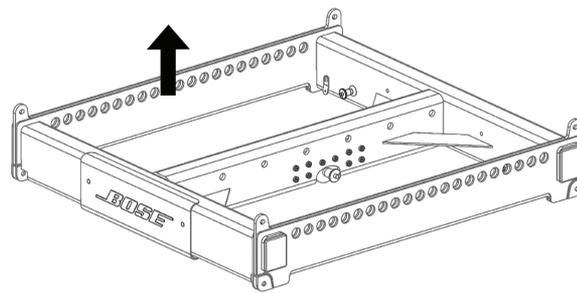
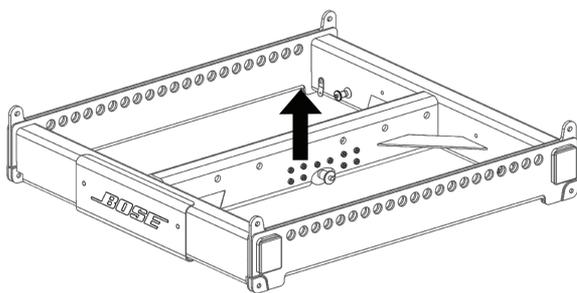
製品重量にはシャックルアダプターの重さ(1個)が含まれています。シャックルアダプターは1つで0.7 kgです。



シングルポイント、荷重制限10:1(ANSI E1.8-2012準拠)

ShowMatch Array Frame (SMAF)
 センターレール
 WLL = 815 kg

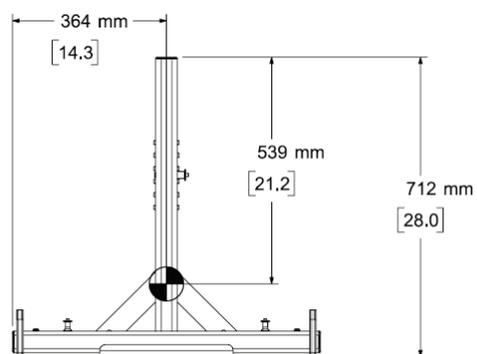
ShowMatch Array Frame (SMAF)
 サイドレール
 WLL = 630 kg



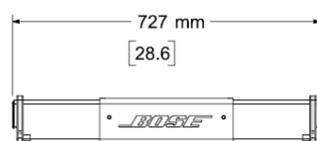
ShowMatch™ T-Bar Array Frame (SMAFT)

製品重量: 18.4 kg

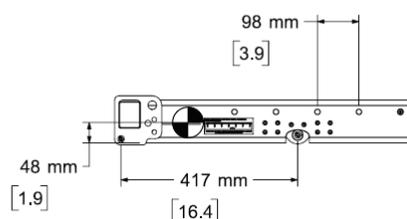
製品重量にはシャックルアダプターの重さ(1個)が含まれています。シャックルアダプターは1つで0.7 kgです。



Top View



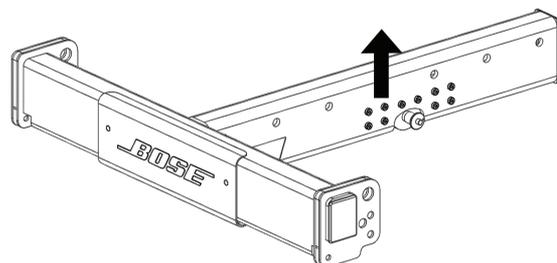
Front View



Right View

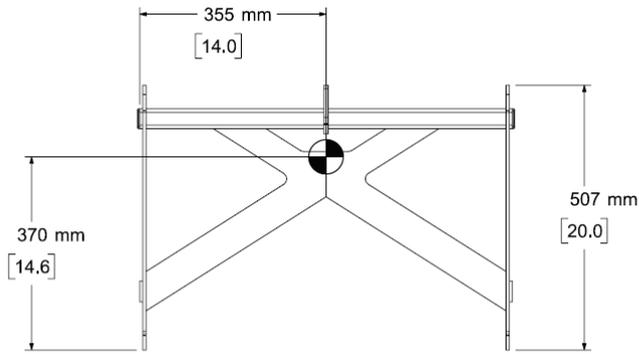
シングルポイント、荷重制限10:1(ANSI E1.8-2012準拠)

ShowMatch T-Bar Array Frame(SMAFT)
センターレール
WLL = 630 kg

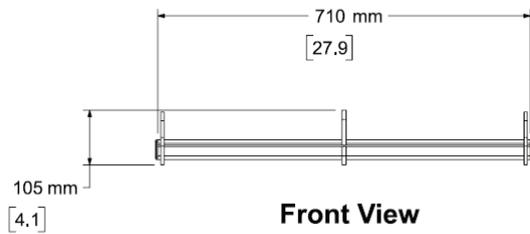


ShowMatch™ Array Pullback Bracket (SMPULL)

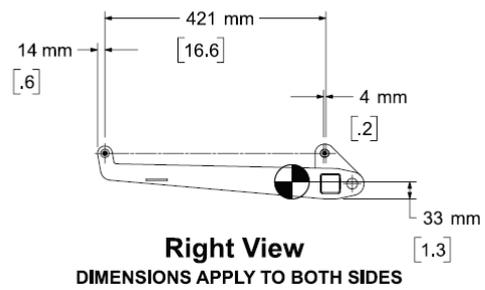
製品重量: 18.4 kg



Top View



Front View



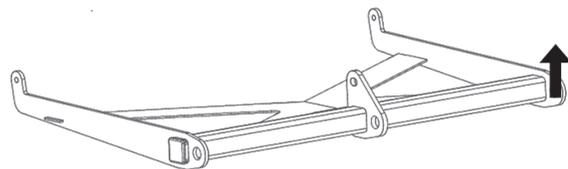
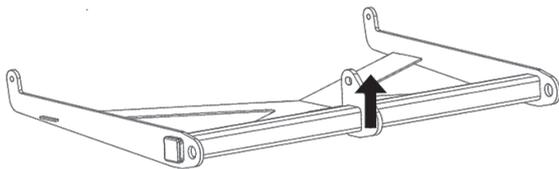
Right View

DIMENSIONS APPLY TO BOTH SIDES

シングルポイント、荷重制限10:1(ANSI E1.8-2012準拠)

ShowMatch Array Pullback Bracket (SMPULL)
センターサスペンションポイント
WLL = 315 kg

ShowMatch Array Pullback Bracket (SMPULL)
サイドサスペンションポイント
WLL = 270 kg



アレイリギング

ShowMatch DeltaQ array loudspeakersには、リギングハードウェアとしてリンクバーが一体化されています。このリギングシステムは、Bose® ShowMatch Array Frameのリギングアクセサリとともに使用する場合に10倍以上の強度を維持しながら、コンサートツアリングや固定設備用途で一般的に必要とされる24本までのフルレンジモジュール アレイまたは18本までのサブウーファーモジュールアレイを速やかにセットアップできるよう設計されています。

注: Bose Modeler®またはBose Array Toolソフトウェアを使用して、正確なアレイ構成、ピッチ角度、リギング箇所に基づいて安全に利用できる荷重制限を確認してください。

注: ShowMatchスピーカーとリギングアクセサリは施工業者のみが設置することを意図しています。

注: スピーカーの吊り上げは、両側面から2名で行ってください。

追加製品の設置とセットアップについては、pro.Bose.comを参照してください。

フルレンジモジュールへの取付け

ShowMatch Array Frame (SMAF)には、サブウーファー用の4つのリギングポイント(4隅すべて)とフルレンジモジュール用の3つのリギングポイント(前面コーナーに2つ、中心に1つ)があります。各サイドレールには、フレームに印刷された標示に対応する21個の取付けポイントがあります。センターレールには、7つのリギングポイントがあり、マルチポイントブラケットアクセサリ(SMAFMP)を使用して最大45ポイントに増やすことができます。マルチポイントブラケットアクセサリの詳細については、pro.Bose.comを参照してください。

ShowMatch T-Bar Array Frame (SMAFT)は、フルレンジアレイモジュール用の3つのリギングポイント(前面コーナーに2つ、後部中央に1つ)があります。センターレールには、7つのリギングポイントがあり、マルチポイントブラケットアクセサリを使用して最大45個に増やすことができます。ShowMatch T-Bar Array Frameは、フルレンジモジュール(SM5、SM10、SM20)のみと互換性があります。ShowMatch T-Bar Array Frameとサブウーファーモジュール(SMS118)は一緒に使用しないでください。サブウーファーモジュールでアレイを構成するには、ShowMatch Array Frameを使用します。

各アレイフレームとShowMatch T-Bar Array Frameには、チェーンまたは標準シャックルにフレームを取り付けるための2つのシャックルアダプターと、アレイモジュールをフレームに接続するための4つのクイックピンが付いています。アレイの横幅を最小限にしたい場合は、各スピーカーモジュールに工場出荷時に取り付けられたサイドエンドキャップと標準のクイックピンを取り外し、オプションのショートクイックピンアクセサリキット(SMQPS)を使用します。ショートクイックピンアクセサリキットの詳細については、pro.Bose.comを参照してください。

ShowMatch Array FrameまたはShowMatch T-Bar Array Frameをフルレンジスピーカーモジュールに取り付けるには:

1. Bose® Modeler®ソフトウェアまたはBose Array Toolを使用して、必要な照準角度に応じた適切なアレイフレームリギングポイントを確認し、アレイがフレームの荷重制限を超えていないことを確認します。ModelerおよびBose Array Toolの詳細については、pro.Bose.comを参照してください。
2. アレイフレームをチェーンモーターの真下に置きます。
3. 付属のフレームシャックルアダプターを、ソフトウェアで指示されたリギングポイントでアレイフレームに取り付けます。
4. チェーンモーターを下げて、アレイフレームに取り付けたシャックルアダプターにチェーンを取り付けます。
5. アレイフレームを取り付ける最初(上部)のモジュールの高さより少し高く上げます。
6. モジュールの両サイドに作業者を1人ずつ配置して、最初のモジュールを吊っているアレイフレームの真下に置きます。
7. モジュール連結用のリンクを準備します: ピンを外し、リンクスイッチをSTOW位置からLINK位置にスライドさせ、ピンを差し直します。図1を参照してください。
8. アレイフレームを最初のモジュールまで下ろします。
9. モジュールとフレームのピン穴の位置が合うようにモジュールの位置を調整します。
10. 2つのフロントピン(各サイドに1つずつあります)を差し込み、リアのセンターピンを差し込んでモジュールをフレームに固定します。図2を参照してください。
11. アレイフレームを次に取付けるモジュールの高さより少し高く上げます。
12. モジュールの両サイドに作業者を1人ずつ配置して、次のモジュールを吊り上げたアレイの真下に置きます。
13. アレイを次のモジュールに下ろします
14. 2番目(下)のモジュールのピン穴を1番目(上部)のモジュールのピン穴に合わせます。
15. 2つのフロントピン(各サイドに1つずつあります)を差し込み、リアのセンターピンを差し込んで固定します。
16. 手順を繰り返して、アレイにモジュールを追加していきます。フレームの荷重制限を超えないようにしてください。
17. 配線してスピーカーの動作をテストし、組み上げられたアレイを目的の位置まで吊り上げます。

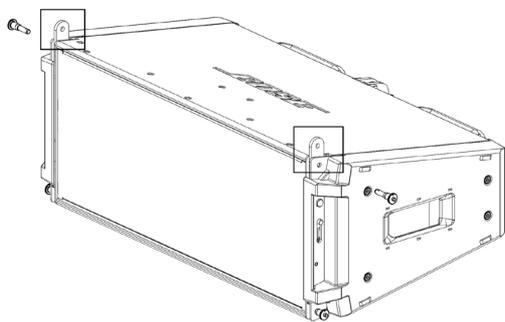


図1. モジュール連結用のリンクを上げる

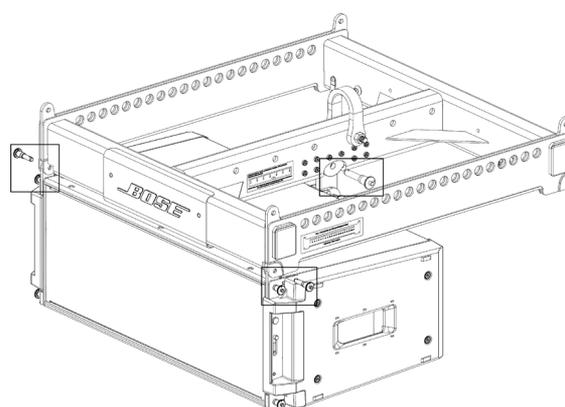


図2. ピンを挿入してモジュールをフレームに取り付ける

アレイフレームのサブウーファーへの取付け

ShowMatch™ Array Frame (SMAF)には、SMS118サブウーファー用の4つのリギングポイント(各コーナーに1つずつあります)と、各サイドレールにフレームに印刷された標示に対応する21個のリギングポイントがあります。センターレールには、7つのリギングポイントがあり、マルチポイントブラケットアクセサリ(SMAFMP)を使用して最大45ポイントに増やすことができます。

注: サブウーファーは、ShowMatch Array Frameのみと互換性があります。ShowMatch T-Bar Array Frameとサブウーファーモジュールは一緒に使用しないでください。

フルレンジモジュールとサブウーファーモジュールを含むアレイを吊り上げるときは、サブウーファーモジュールがアレイの最上部に位置している必要があります。

ShowMatch Array Frameをサブウーファーに取付けるには:

1. Bose® Modeler®ソフトウェアまたはBose Array Toolを使用して、必要な照準角度に対する適切なアレイフレームリギングポイントを確認し、アレイがフレームの荷重制限を超えていないことを確認します。ModelerおよびBose Array Toolの詳細については、pro.Bose.comを参照してください。
2. アレイフレームをチェーンモーターの真下に置きます。
3. 付属のシャックルアダプターを、ソフトウェアで指示されたリギングポイントでアレイフレームに取り付けます。
4. チェーンモーターを下げて、アレイフレームに取り付けたシャックルアダプターにチェーンを取り付けます。
5. アレイフレームをサブウーファーの高さより少し高く上げます。
6. サブウーファーの両サイドに作業者を1人ずつ配置して、サブウーファーを吊っているアレイフレームの真下に置きます。
7. ピンを外してサブウーファーの4つのコーナーにある連結用のリンクを上げて、リンクスイッチをSTOW位置からLINK位置にスライドさせてピンを指し直します。図3を参照してください。
8. サブウーファーにアレイフレームを下ろします。
9. フレームのピン穴の位置と合うようにサブウーファーの位置を調整します。
10. 2つのフロントピン(各サイドに1つずつあります)を差し込み、2つのリアピン(各サイドに1つずつあります)を差し込んでサブウーファーをフレームに固定します。図4を参照してください。
11. アレイフレームを次に取付けるモジュールの高さより少し高く上げます。
12. モジュールの両サイドに作業者を作業員を1人ずつ配置して、次のモジュールを吊り下げアレイの真下に置きます。
13. アレイを次のモジュールに下ろします
14. 2番目(下)のモジュールのリンクを最初(上部)のモジュールのリンクに合わせます。
15. 2つのフロントピン(各サイドに1つずつあります)を差し込み、リアのセンターピンを差し込んで下のモジュールを固定します。
16. 手順を繰り返して、アレイにモジュールを追加していきます。フレームの荷重制限を超えないようにしてください。
17. 配線してスピーカーの動作をテストし、組み上げられたアレイを目的の位置まで吊り上げます。

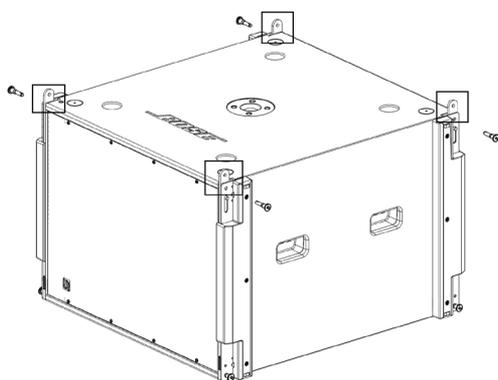


図3. サブウーファーのリンクを上げる

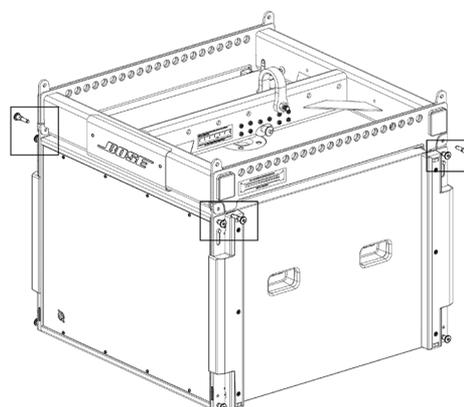


図4. ピンを挿入してフレームにサブウーファーを取り付ける

プルバックブラケットをフルレンジモジュールに接続する

ShowMatch Pull Back Bracket (SMPULL) を最下段のフルレンジアレイモジュールに取り付けることで、躯体に支持させる3点サスペンションを実現するリギングポイントを設られ、より大きな下振りが可能になります。

プルバックブラケットには、プルバックケーブルまたはトランジションブラケットアクセサリ (SMSTK) を接続するために、背面に3つのリギングポイントが付いています。トランジションブラケットアクセサリの詳細については、pro.Bose.comを参照してください。

プルバックケーブルに接続する場合、センターのリギングポイント、両サイドのリギングポイントのいずれか、またはすべてのリギングポイントを使用することを推奨します。アレイフレームの主となるサスペンションポイントは、プルバックケーブルの引っ張り荷重を最小限に抑えるために、できるだけアレイの重心に近づけます。

Bose ModelerソフトウェアまたはBose Array Toolを使用して、プルバックブラケットが必要かどうかを判断し、プルバック角度と荷重が安全に利用できる制限内であることを確認します。ModelerおよびBose Array Toolの詳細については、pro.Bose.comを参照してください。

注: プルバックブラケットは、アレイ全体の構造支持体として設計されたものではありません。

プルバックブラケットをフルレンジアレイモジュールに取り付けるには:

1. このマニュアルとpro.Bose.comの手順に従ってアレイフレームまたはTバーアレイフレームでアレイを組み立てます。
2. 連結タブを上向き(アレイに向けて)にしてプルバックブラケットを配置します。図5を参照してください。
3. プルバックブラケットの3つの連結タブと最下段のフルレンジアレイモジュールの3つのリギングポイント(前面に2つ、後部中央に1つ)を合わせます。
4. 2つのフロントピン(各サイドに1つずつあります)を差し込み、リアピンを1つ差し込んでプルバックブラケットをモジュールに固定します。図6を参照してください。
5. 付属のシャックルを使用して、プルバックケーブルをブラケットに取り付けます。
6. 配線してスピーカーの動作をテストし、組み上げたアレイを目的の位置まで吊り上げます。
7. アレイのに応じて、プルバックブラケットに取り付けたプルバックケーブルの長さを調節します。

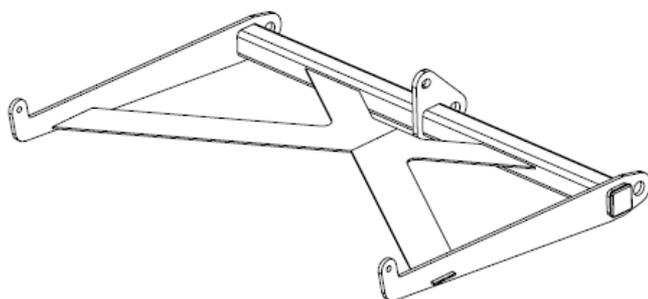


図5. 連結タブを上向きにして配置したプルバックバー

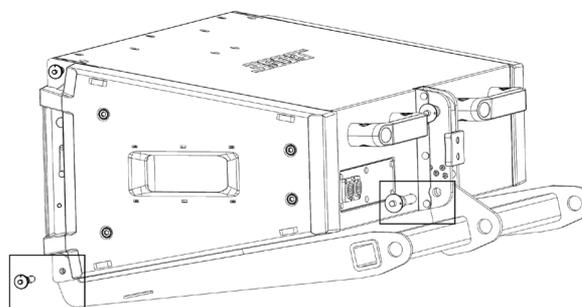


図6. ピンを挿入してプルバックブラケットをモジュールに取り付ける

連絡先情報

次のウェブサイトアクセスしてください。pro.Bose.com

南北アメリカ

(米国、カナダ、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ)

Bose Corporation
The Mountain
Framingham, MA 01701 USA
Corporate Center: 508-879-7330
Americas Professional Systems,
Technical Support: 800-994-2673

オーストラリア

Bose Pty Limited
Unit 3/2 Holker Street
Newington NSW Australia
61 2 8737 9999

ベルギー

Bose N.V./ S.A
Limesweg 2, 03700
Tongeren, Belgium
012-390800

中国

Bose Electronics (Shanghai) Co Ltd
25F, L'Avenue
99 Xianxia Road
Shanghai, P.R.C.200051 China
86 21 6010 3800

フランス

Bose S.A.S
12 rue de Temara
78100 St. Germain en Laye, France
01-30-61-63-63

ドイツ

Bose GmbH
Max-Planck Strasse 36D 61381
Friedrichsdorf, Deutschland
06172-7104-0

香港

Bose Limited
Suites 2101-2105, Tower One, Times Square
1 Matheson Street, Causeway Bay, Hong Kong
852 2123 9000

インド

Bose Corporation India Private Limited
Salcon Aurum, 3rd Floor
Plot No. 4, Jasola District Centre
New Delhi - 110025, India
91 11 43080200

イタリア

Bose SpA
Centro Leoni A - Via G. Spadolini
5 20122 Milano, Italy
39-02-36704500

日本

ボーズ合同会社
〒150-0036
東京都渋谷区南平台町16-17
住友不動産渋谷ガーデンタワー5F
電話: 0570-080-021
www.bose.co.jp

オランダ

Bose BV
Nijverheidstraat 8 1135 GE
Edam, Nederland
0299-390139

英国

Bose Ltd
1 Ambley Green, Gillingham Business Park
KENT ME8 0NJ
Gillingham, England
0870-741-4500

その他の国については、Webサイトをご覧ください

輸入者情報

EU

Bose GP, Castleblayney Road, Carrickmacross, County Monaghan, Ireland

中国

Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plan 9, No. 353 North Riyang Road, China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone

台湾

Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No. 10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan
Tel: 886 2 2514 7977

メキシコ

Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México, D.F.
電話: 001 800 900 2673

保証

本製品には製品保証が付いています。保証の詳細については保証書をご覧ください。

..



772786-0010

©2016 Bose Corporation, The Mountain,
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM772786 Rev. 00
OM-1570-A
17 • 03 (S)

